

造影 CT 検査説明書 (造影剤と副作用)

【 CT 検査 】

- CT 検査とはエックス線 (X 線) とコンピュータを使い、輪切りの絵を連続して写す事で、身体 (頭部、躯幹部、四肢) の内部構造を精密に検査する手段です。
- 現在は輪切りの像だけでなく、縦方向の像 (冠状断) や横方向の像 (矢状断) などあらゆる方向の画像を作ることができます。また 3D (立体) 画像を作ることでもあります。

【 造影 CT 検査 】

- 「造影剤」という X 線を吸収するお薬を静脈より注射し CT 撮影をします。造影剤を使用することでより小さな病変が見つかったり、血管の様子・臓器の血流・病気の性質などがわかりやすくなり診断のための重要な情報が得られます。
- 「造影剤」は体格や体重によって算出した適量を、機械によって決められた早さで体内に注射しますが、静脈には個人差があり、造影剤が血管外に漏れやすい体質の方もいらっしゃいます。頻度は約 0.3~0.9% (330 人~110 人に一人)
多くの場合、血管外に漏れた造影剤は時間とともに体内に吸収され問題は起こりませんが、漏れた量が多い場合は追加処置が必要となる場合があります。

【 造影剤の副作用 】

副作用の種類と頻度は以下のようになっています。

- 軽い副作用；かゆみ、発赤、吐気、嘔吐、くしゃみ、頭痛等。基本的に治療は不必要です。
頻度は約 0.4~1.0% 以下 (1,000 人につき約 4~10 人程度)
- 重い副作用；不整脈、けいれん、腎不全、意識消失、呼吸困難等。原則的には治療が必要です。
頻度は約 0.04% (2,500 人に 1 人程度)
- 極めて重い副作用： 重度の副作用のうち、入院を必要とするもの。
頻度は約 0.004% (25,000 人に 1 人)

病状・体質によっては 0.0005%~0.001% (10 万~20 万人に 1 人) 死亡する場合があります。

【 検査後の注意 】

- 本日使用しました造影剤は、尿として排泄されます。本日は多めに水分をとるようにして下さい。食事は、普段どおりで結構です。
- ごくまれにですが、造影剤の副作用として検査後数日以内に動悸、頭痛、吐気、痒み、じんましん等の症状が現れる事があります。症状が発現した場合は医師まで連絡して、その指示に従って下さい。

連絡先：受診されている外来診療科受付 電話 0771-42-2510 (代表)

造影CT 検査説明書（糖尿病薬と過敏症・喘息）

【 糖尿病薬の服用について 】

- 現在、糖尿病薬を服用されている方で次に挙げる(ビグアナイド系)種類の糖尿病薬をご利用の方は注意が必要です。

メトホルミン塩酸塩 グリコラン錠 ネルビス錠 メデット錠 メタクト配合錠
ジベトス錠 ジベトンS 腸溶錠 イニシンク配合錠 エクメット配合錠 メトグルコ錠

- 上記の糖尿病薬と造影剤の併用は乳酸アシドーシスを起こすリスクが高くなります。造影検査日より前後2日間(計5日間)の服用中止またはビグアナイド系以外の糖尿病薬への変更が必要です。(ただし腎機能に問題がない方はこの限りではありません：eGFR 45 以上)

検査2日前 年 月 日 検査当日 年 月 日 検査2日後 年 月 日

【 造影剤過敏症・喘息の既往について 】

- 過去に喘息の既往があった方に関しては、無治療・無症状が5年以上継続している場合は通常通り検査が可能です。
- 過去の造影CT 検査にて過敏症症状が出た方や活動性の喘息をお持ちの方は、通常の方に比べて副作用の起こる確率が過敏症においては3倍から10倍、喘息においては5倍から10倍多いと言われていますので基本的に造影検査はできません。ただし、検査によって得られる利益と危険性を検討し、利益が上回ると判断された場合は主治医の判断で細心の注意を払い検査を施行することがあります。ご不明な点がございましたら主治医にご相談ください。

※上記の判断を正確に行うため問診票の記載はできるだけ正確にお願いいたします。

検査前

- 予約時間の10分前までに診察券・予約票を持参し。放射線科受付にお越しください。
- 金属・ボタン・入れ歯・湿布・カイロなどを外していただきます。
- 金属のついた下着・ズボンなどは脱いでいただく必要があります

検査中

- 息止めや体動制止の指示(合図)に従ってください
- 診断に有効な体位になっていただくため、場合によっては体に触れる場合があります。
- 体動が制御できない場合は検査を中止させていただきます場合があります。

検査後

- 検査終了後は水分を多めに取ってください。
- 気分がすぐれない時は、看護師又は周りにいる病院スタッフにお声かけをお願いします
- 針を抜いた場所から(絆創膏内)血が出ることがありますので、検査後よく押さえていただくようお願いします

注意事項

- 食事は検査の3時間前までにお済ませください。水分(お茶・水に限る)は十分に取ってください。脱水は造影剤の副作用を強めます。
- 緊急の患者さんやその他検査の都合上、時間が多少ずれる場合がありますがご了承いただきますようお願いいたします。